



# 施工説明書

## HES1F-B型 薄枠丁番 アルミ薄枠セット

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。  
施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

### 本製品について

- 薄枠丁番HES1F-140型とストライクが組み込まれた、屋内建具用アルミ薄枠です。
- 二方枠限定となります。垂壁を設ける際はクロスを巻き込んでください。
- 別売の下地スペーサーを使用すると、ストライクと石膏ボードの干渉無く施工できます。
- 石膏ボードは12.5 mm厚をご使用ください。

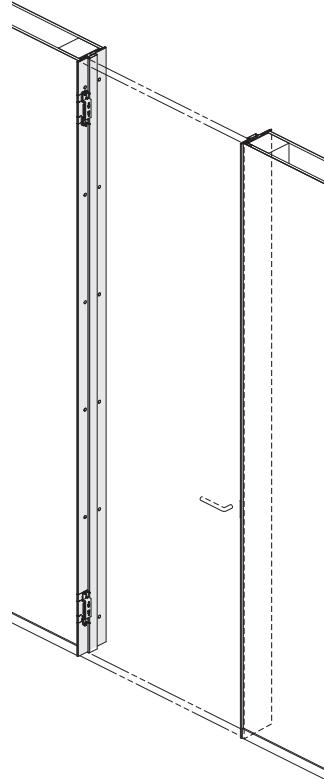
### 本書の見方

- 本書は左吊元で説明しています。右吊元の場合は左右対称となります。



### 仕様

枠高さ	扉厚	扉幅	セット丁番数	耐荷重
2500 mm	36~45 mm	~900 mm	2ヶ	40 kgf
2700 mm			3ヶ	50 kgf



### 目次

- |        |     |      |      |
|--------|-----|------|------|
| 部品構成   | P.2 | 施工手順 | P.6  |
| 納まり図   | P.3 | 調整方法 | P.12 |
| 施工前の確認 | P.5 |      |      |

### 正しく安全に施工していただくために

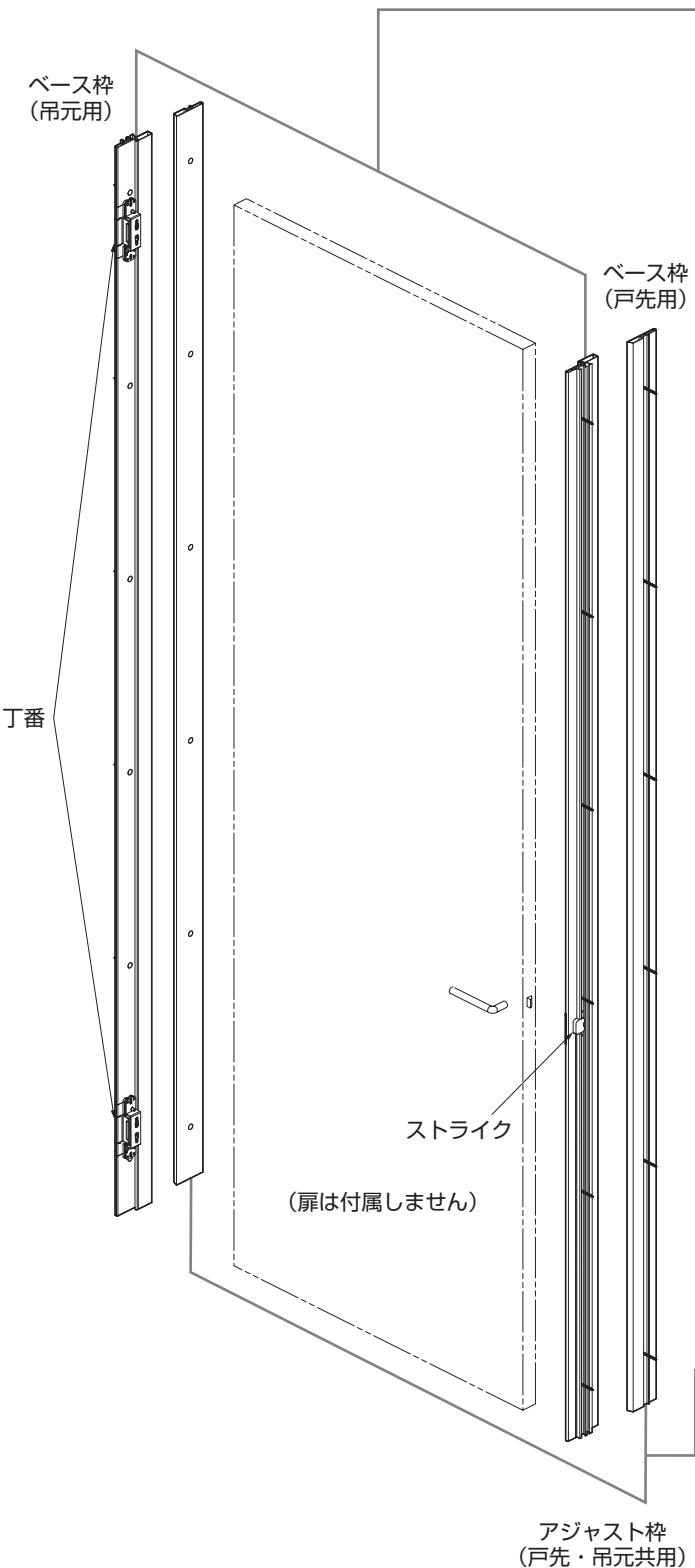


#### !**注意** 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。扉や枠の反り、傾きやねじれは、故障の原因となります。
- アルミ枠の長さ調整（切断方法）は、P.5の記載内容にしたがって行ってください。それ以外の調整方法は行わないでください。
- 本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認いただくとともに、使用者へ建具を安全に使用するための注意喚起もしてください。
- ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めをしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。
- 2人以上で作業をしてください。扉の落下・転倒などでけがをするおそれがあります。
- 軽量鉄骨・軽天など木材以外に取付ける際には、必ず枠との間に木柱を入れて取付けてください。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、最後の締め付けは必ず手締めにて行ってください。
- 本来の目的とは異なる使用方法や、本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- 本製品をたてかけないでください。また、高温高湿下で保管等を行わないでください。反りや外観不良の原因となります。
- アルコール・シンナー等の溶剤の使用は避けてください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
- かいもの（スペーサー）は軸体と同じ幅のものを使用してください。
- 納品時に各部材を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付前にお買い求め店までご連絡ください。施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はご容赦ください。



# 部品構成



## ベース枠セット

調整タイプ クロス巻き込みタイプ に使用

部品		入数	
		2500 mm	2700 mm
ベース枠	吊元用 戸先用	丁番付属 枠高さ 2500 mm…2ヶ 枠高さ 2700 mm…3ヶ	1本
		ストライク 1ヶ付属	1本
カバー (扉側・枠側)	扉側 枠側	2セット	3セット
取付ねじ	十字穴付 トラスタッピンねじ 4×40	12本	
	十字穴付 なべタッピンねじ 4×16	8本	12本
枠用ねじキャップ		12ヶ	
六角レンチ 呼び3		1ヶ	
掘込加工テンプレート		1枚	

※ケースロック、ハンドルは別売です。

## アジャスト枠セット

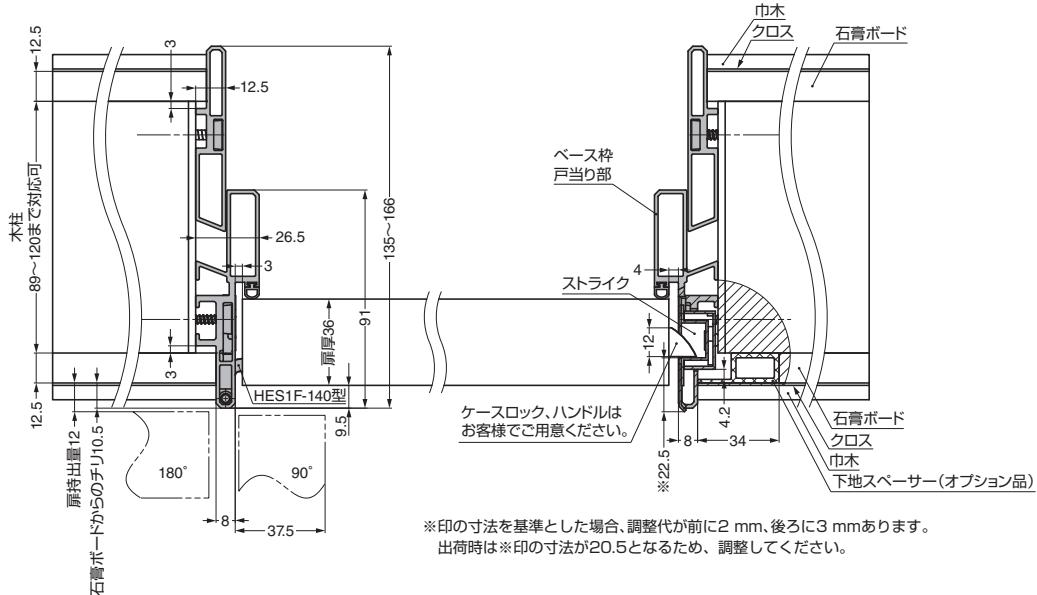
調整タイプ に使用

部品		入数
アジャスト枠 (戸先・吊元共用)		2本
取付ねじ	十字穴付 トラスタッピンねじ 4×40	12本
枠用ねじキャップ		12ヶ

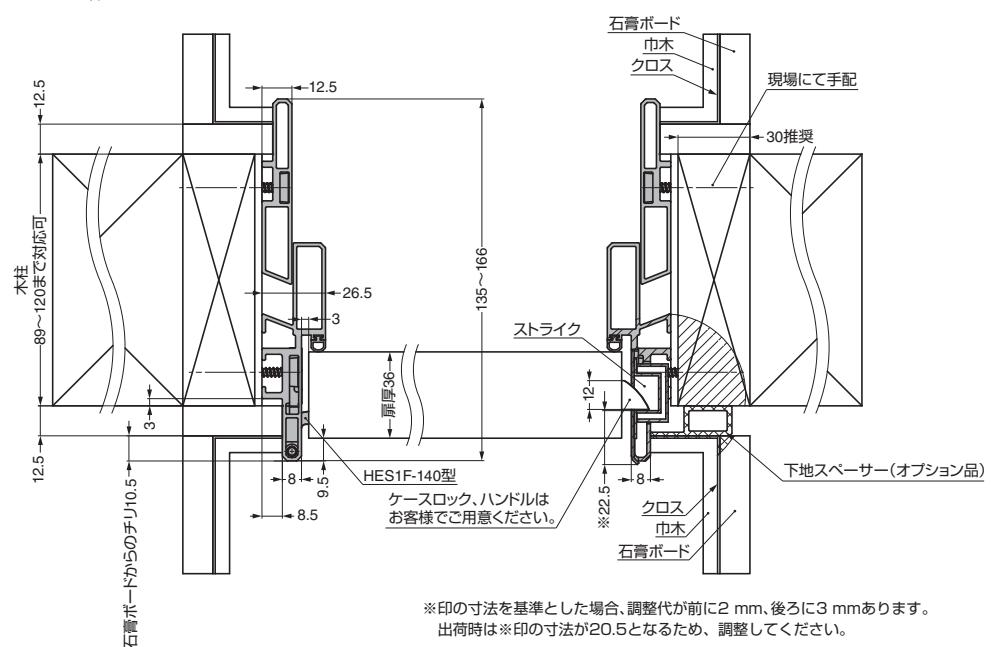
納まり図

## ■調整タイプ

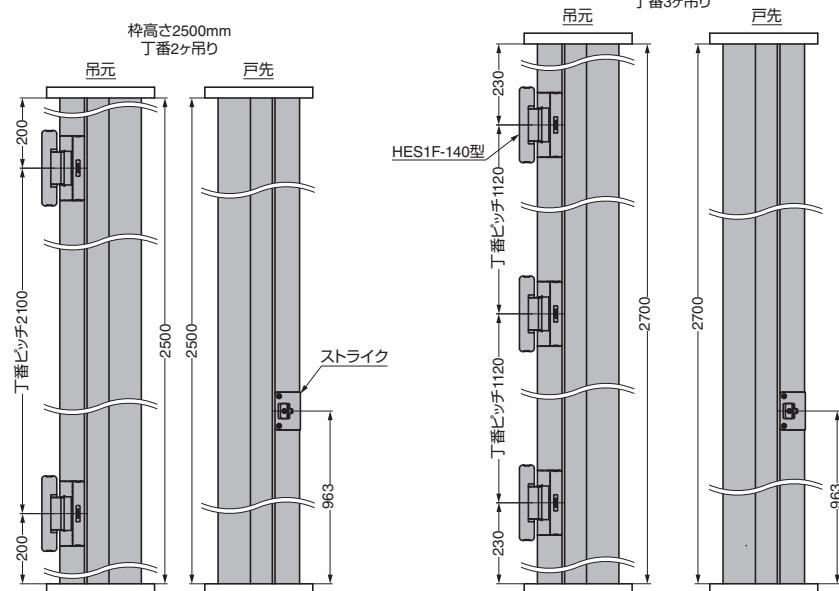
平入納まり



入隅納まり



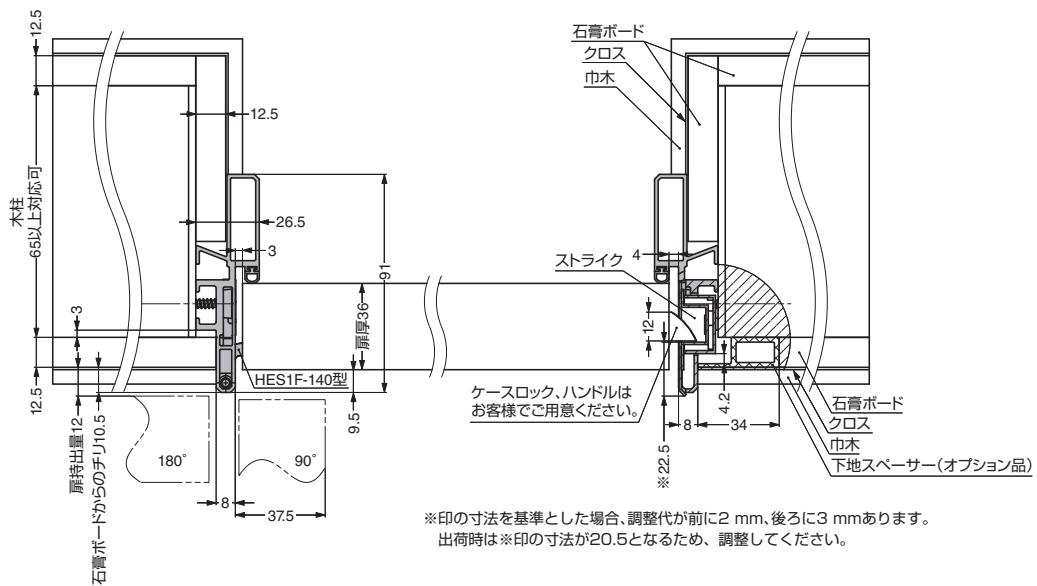
### 側面図



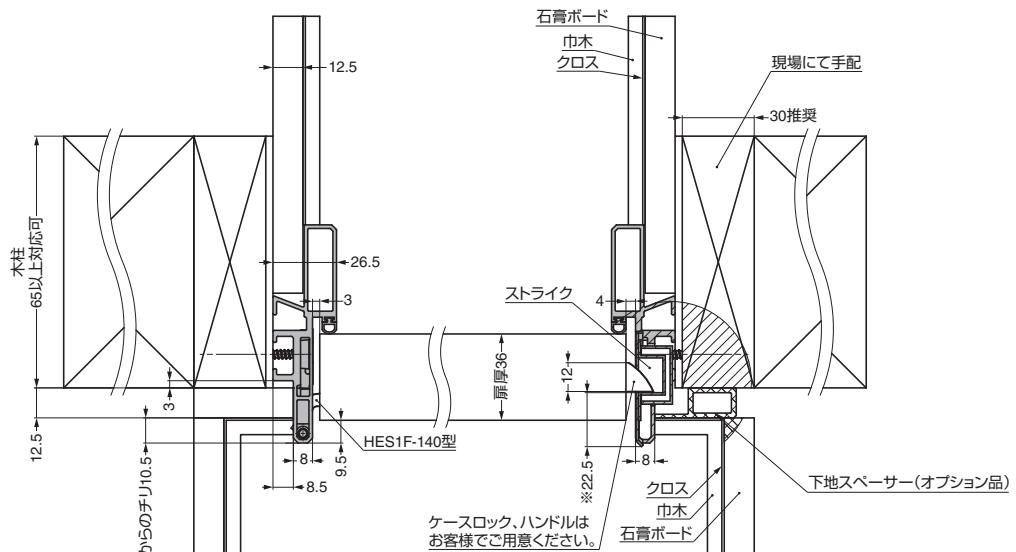
# 納まり図

## ■クロス巻き込みタイプ

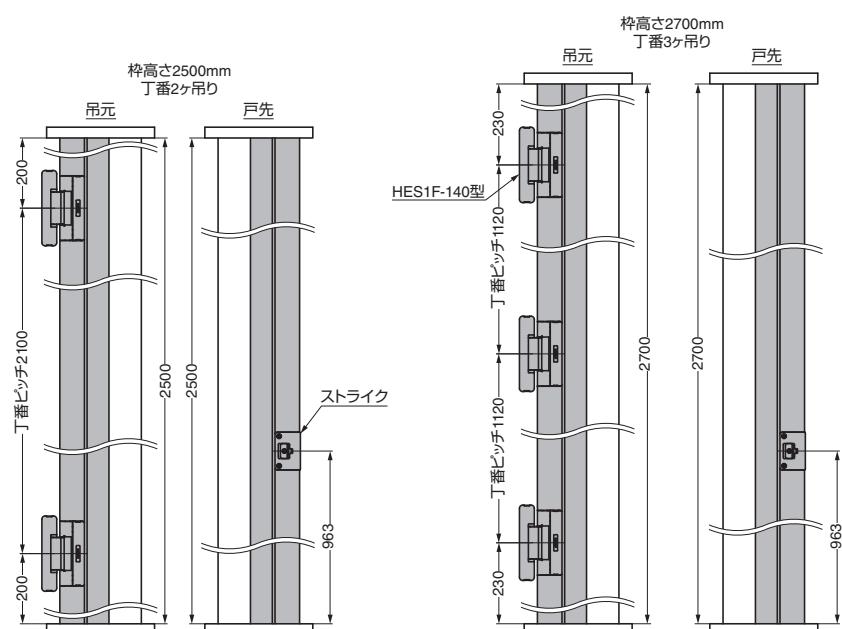
平入納まり



入隅納まり



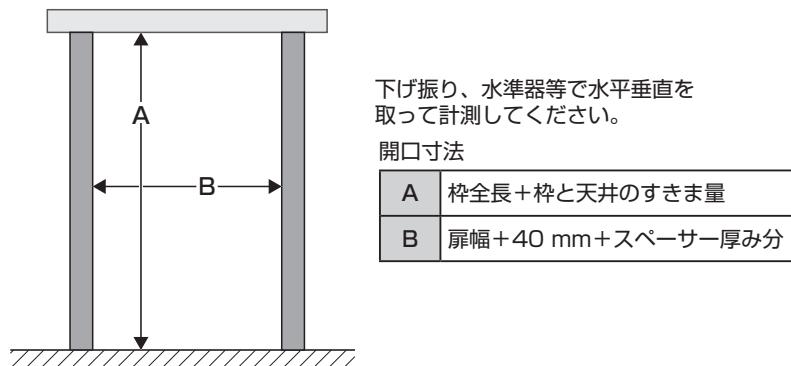
側面図



# 施工前の確認

## ■開口部の確認

調整タイプ・クロス巻き込みタイプ 共通



## ■枠の長さ調整（切断方法）

開口部に合わせて、枠の長さを調整します。

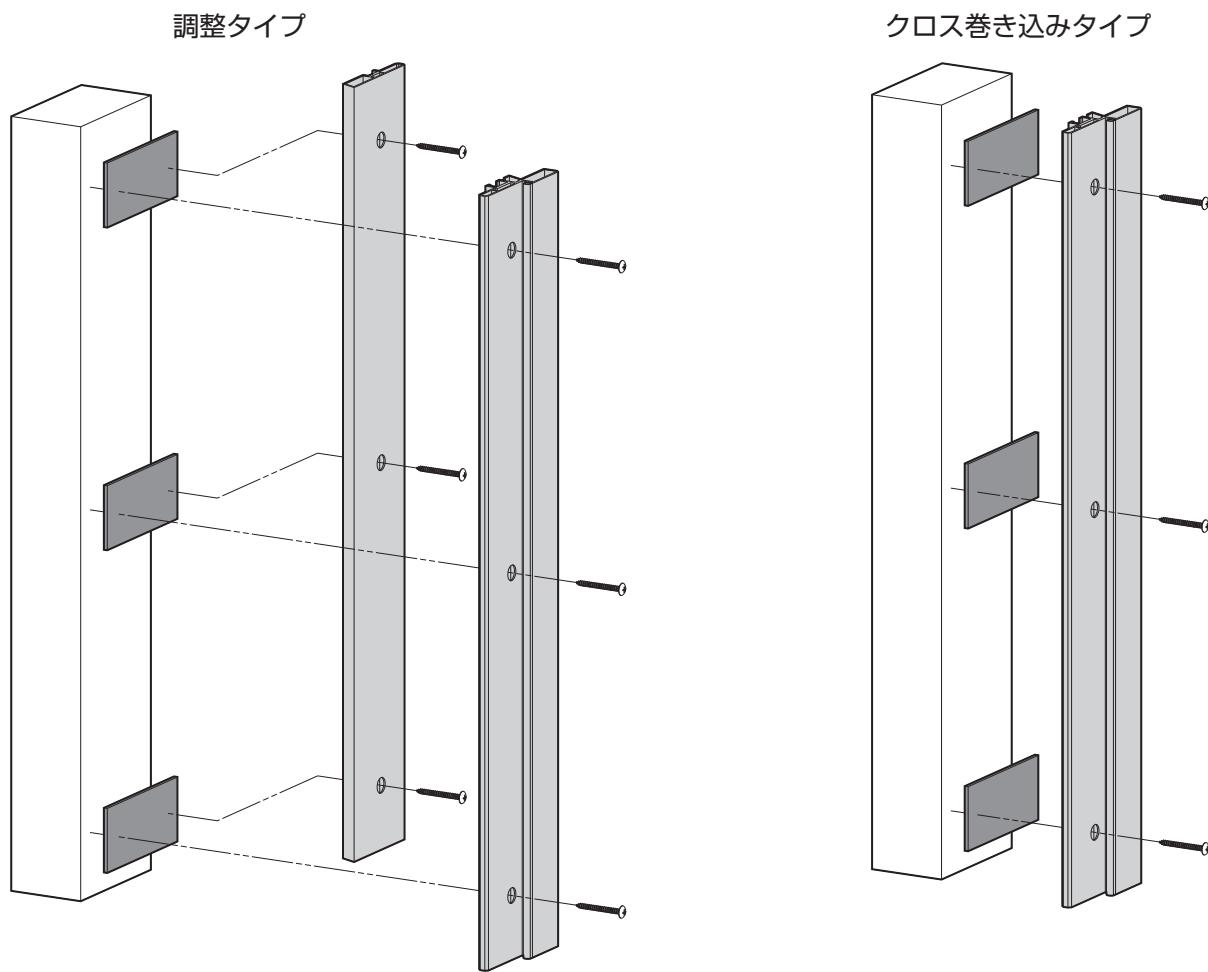
枠の種類	ベース枠		アジャスト枠	
	吊元側	戸先側	吊元側	戸先側
切断量	 ●両端の切断量 枠高さ2500 mm : 各50 mm以内 枠高さ2700 mm : 各100 mm以内	 ●上端の切断量 枠高さ2500 mm : 100 mm以内 枠高さ2700 mm : 130 mm以内  ●下端の切断量 原則、切断禁止※ 【L】 【R】	ベース枠 吊元側と 同方向・ 同量を切断	ベース枠 戸先側と 同方向・ 同量を切断
注意	<b>!</b> 枠の両端から均等に切断してください。		<b>!</b> 枠の上端のみを切断してください。 ※ △枠の下端を切断する場合は、ストライクの高さ位置が変わるために、扉に取り付けるケースロックの高さ位置も変更してください。	<b>!</b> 6つのねじ穴の位置が合うように、ベース枠と同じ長さに切断してください。

※現場調整が必要な場合もございます。

# 施工手順

## 1-1 枠の取り付け

### ① 取り付けイメージ

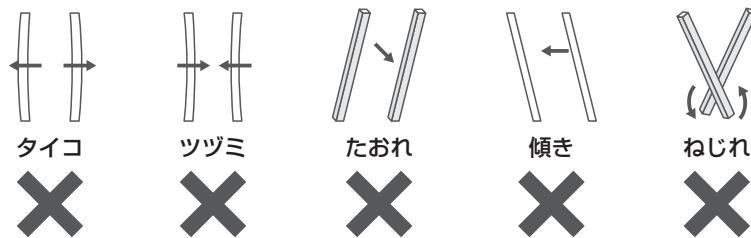


スペーサー（お客様手配）には  
柱幅と同じ寸法の、乾燥した合板を使用します。

開口部の寸法に応じて各ねじ止め部分にスペーサーを入れ  
枠の水平・垂直を出してください。

### △ 注意

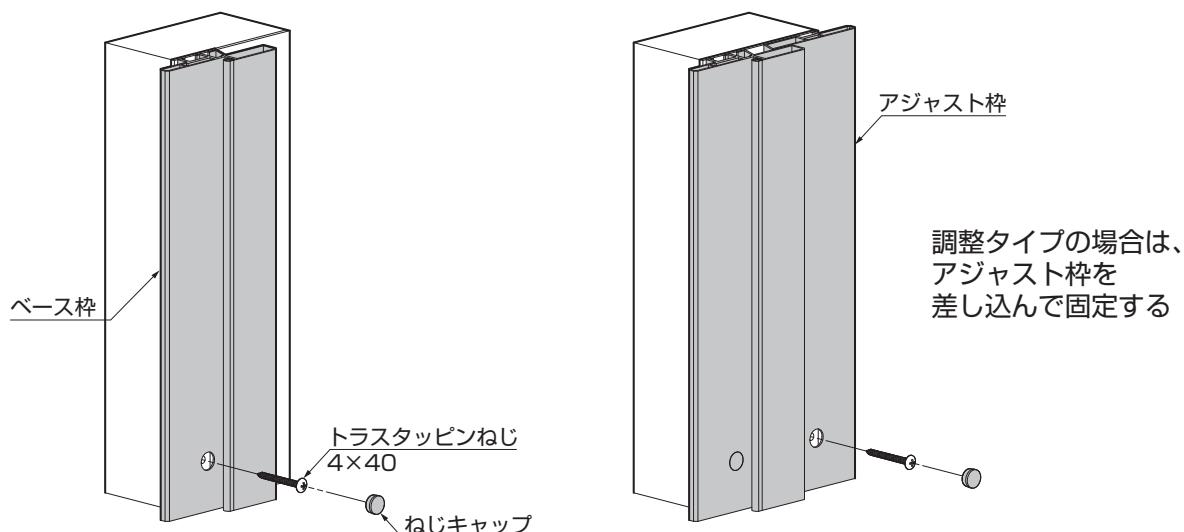
- ① 下記のように枠が変形しないようにする。  
枠が変形すると、扉の取り付けを正しく行うことができません。



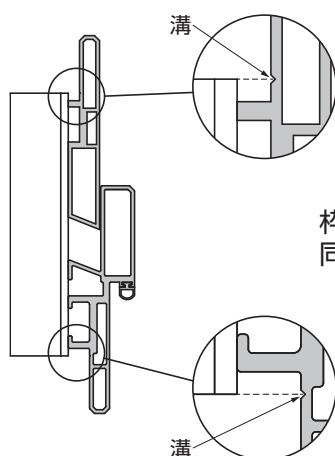
# 施工手順

## 1-2 枠の取り付け

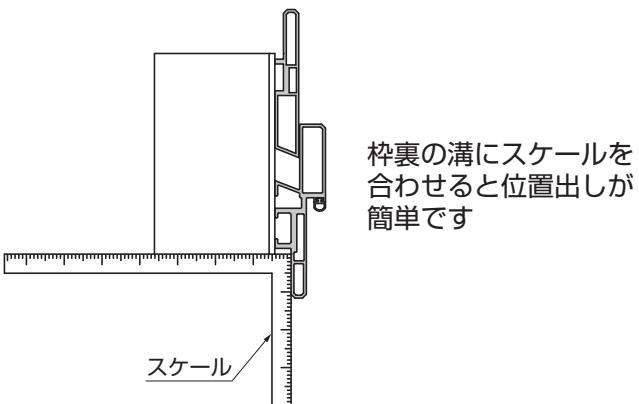
### ② 柱にベース枠・アジャスト枠を固定する



#### 位置決めのポイント

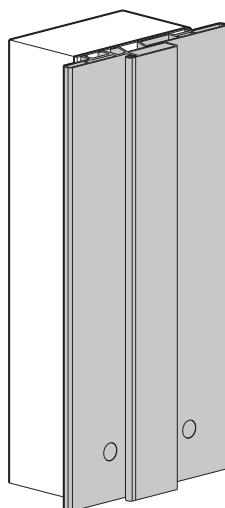


枠裏の溝と柱のエッジを同一線上に並べます

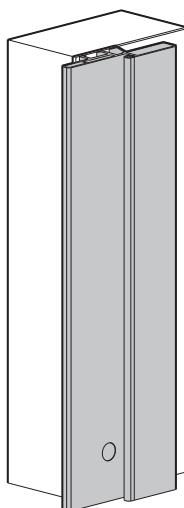


枠裏の溝にスケールを合わせると位置出しが簡単です

### ③ 取り付け完了イメージ



調整タイプ



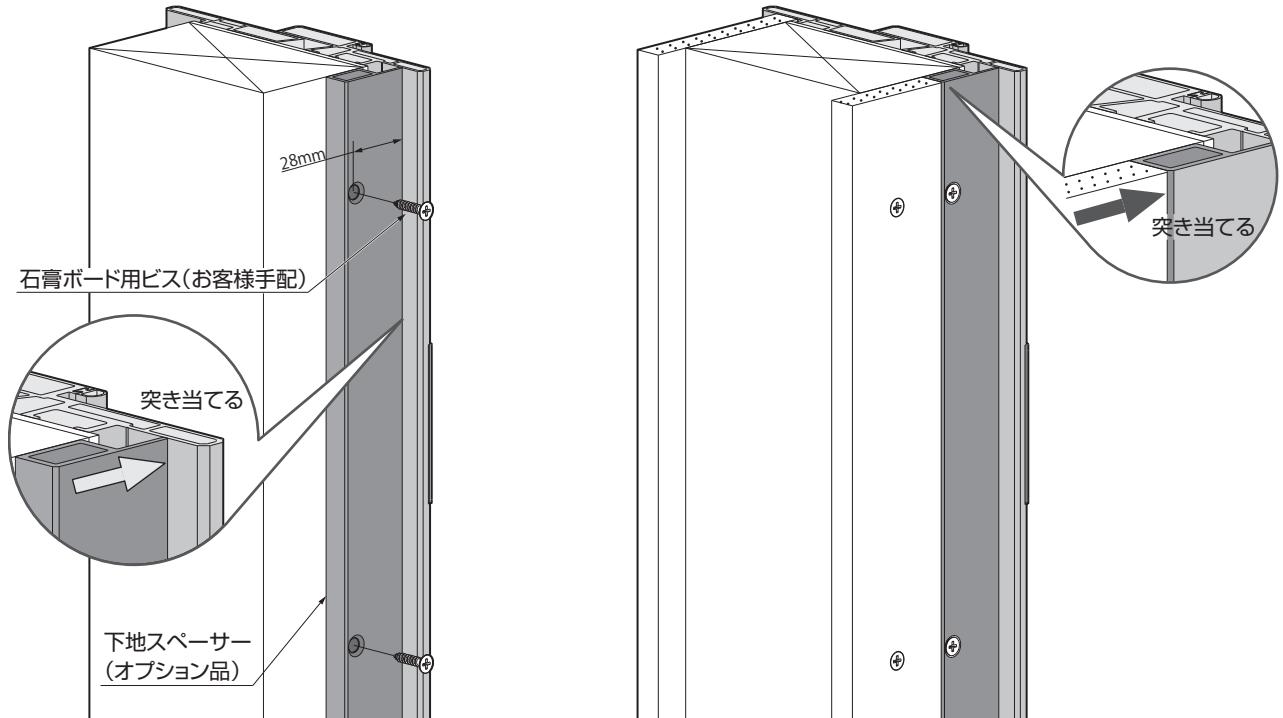
クロス巻き込みタイプ

# 施工手順

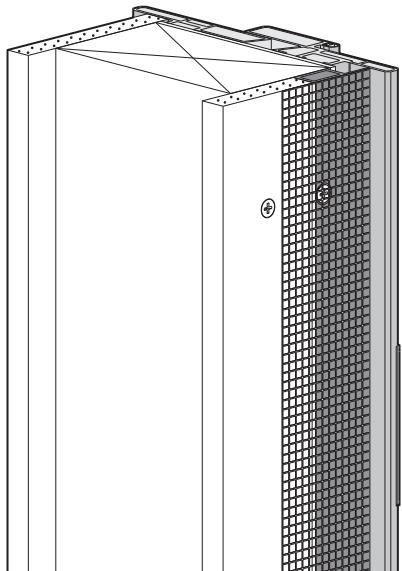
## 2 下地スペーサーの施工

### ■戸先側（調整タイプ・クロス巻き込み枠タイプ 共通）

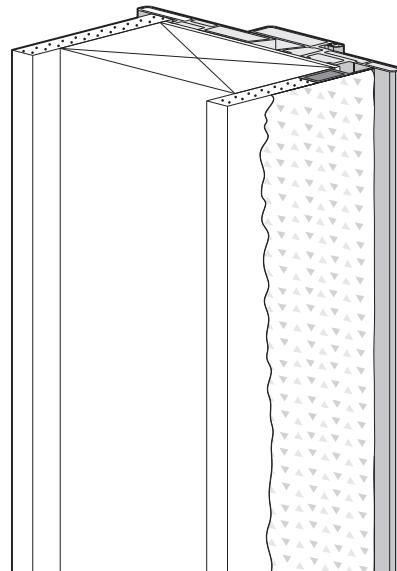
- ① 枠に下地スペーサー（オプション品）を突き当てて、  
固定する
- ② 下地スペーサーに石膏ボードを突き当てて、  
固定する



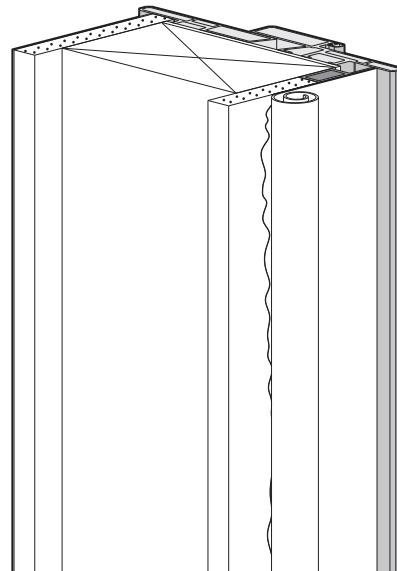
- ③ メッシュテープを貼り付ける



- ④ 境目全体にパテ処理を施す



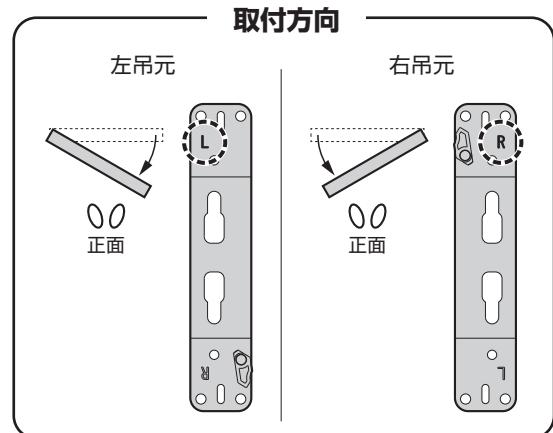
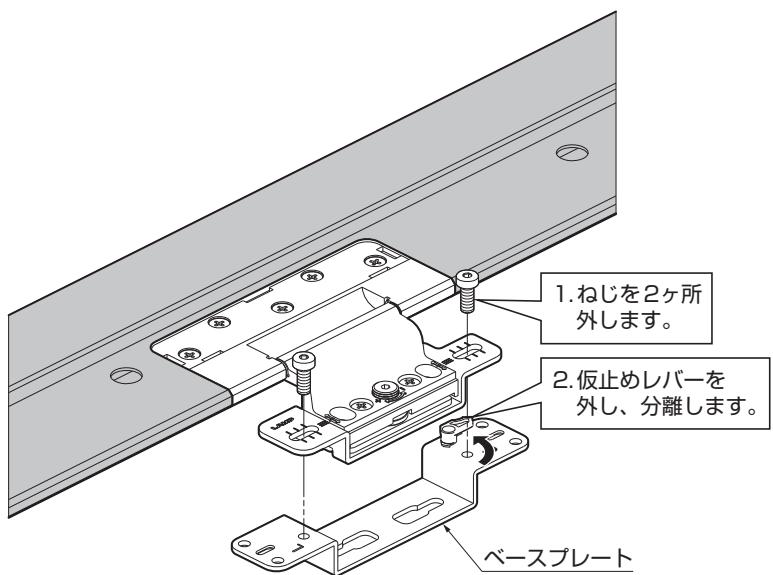
- ⑤ クロスを貼り付ける



# 施工手順

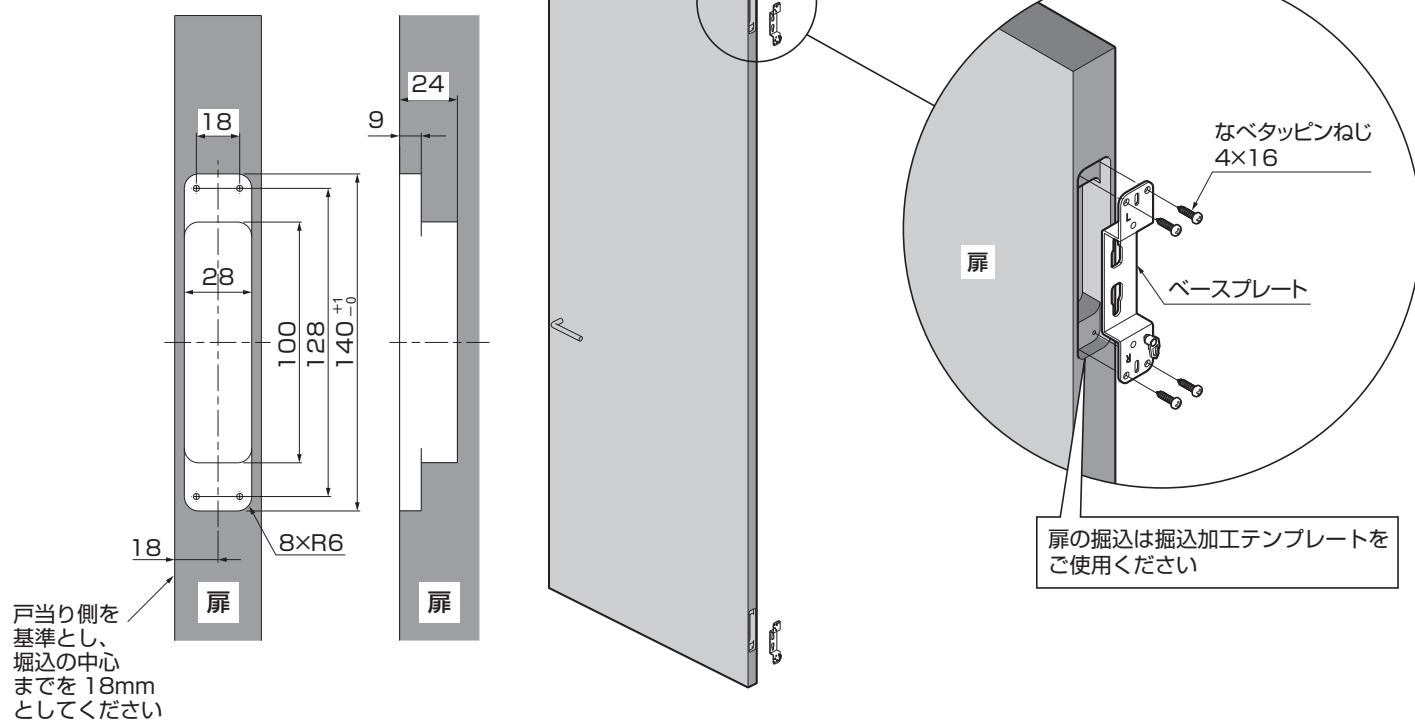
## 3 丁番・扉の下準備

### ① 丁番からベースプレートを取り外す



### ② ベースプレートを扉に取り付ける

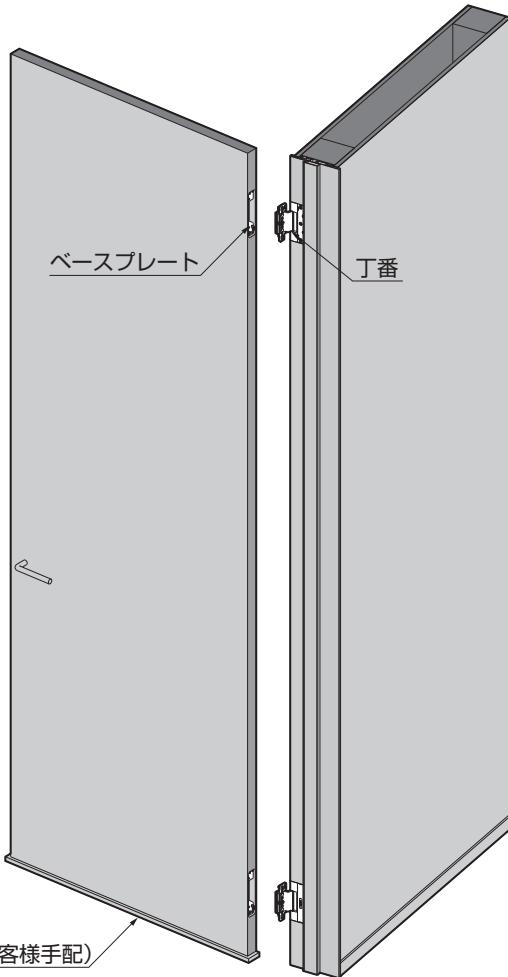
扉加工図



## 施工手順

### 4-1 扇の吊り込み

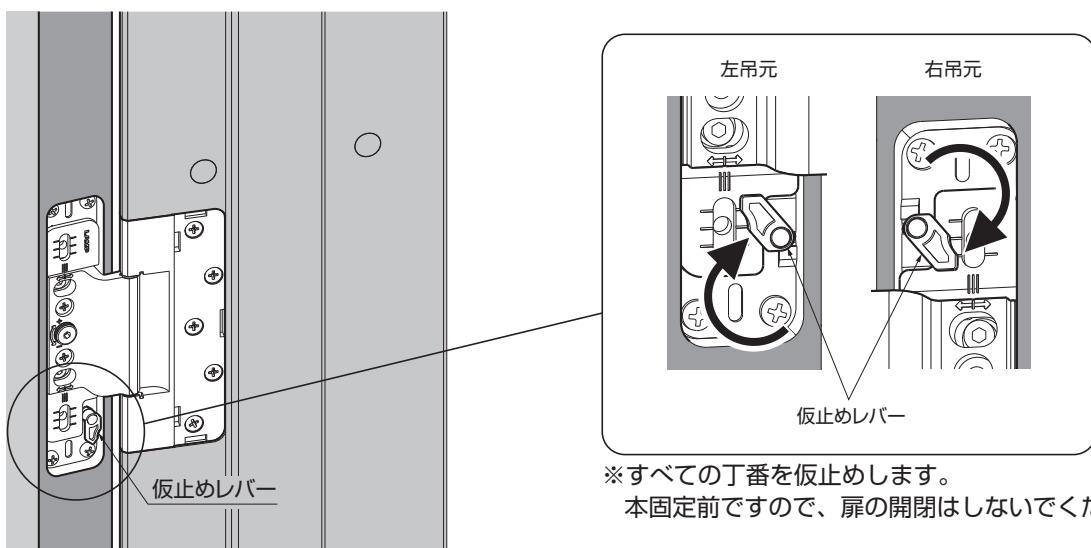
- ① かいもの（お客様手配）を扇の下に置き、  
丁番とベースプレートの高さを合わせる



#### 注意

! 2人以上で作業をしてください。  
扇の落下・転倒などだけがをする  
おそれがあります。

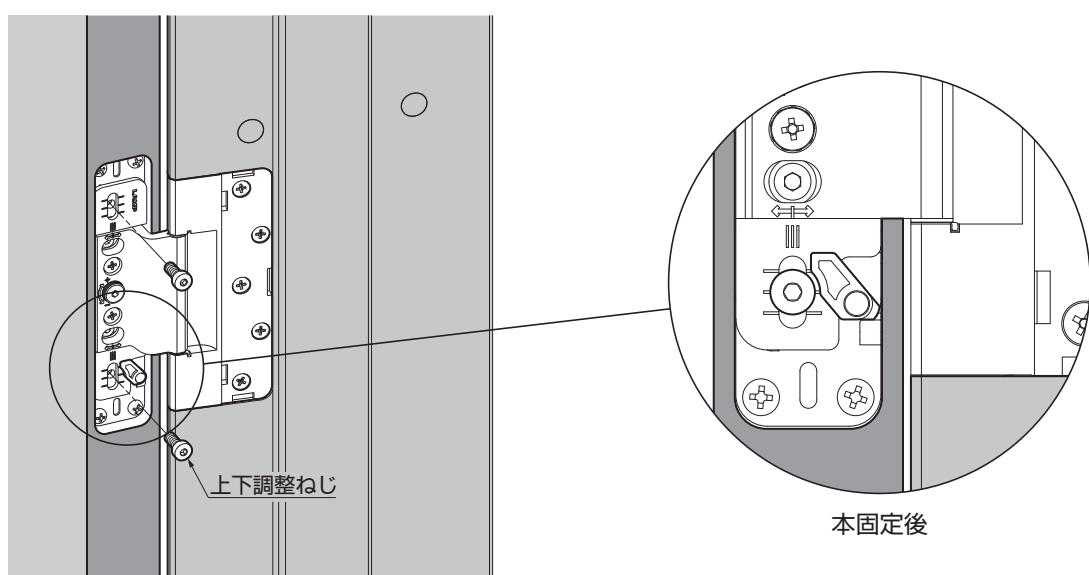
- ② 扇を移動して丁番をベースプレートに差し込み、  
仮止めレバーで仮止めする



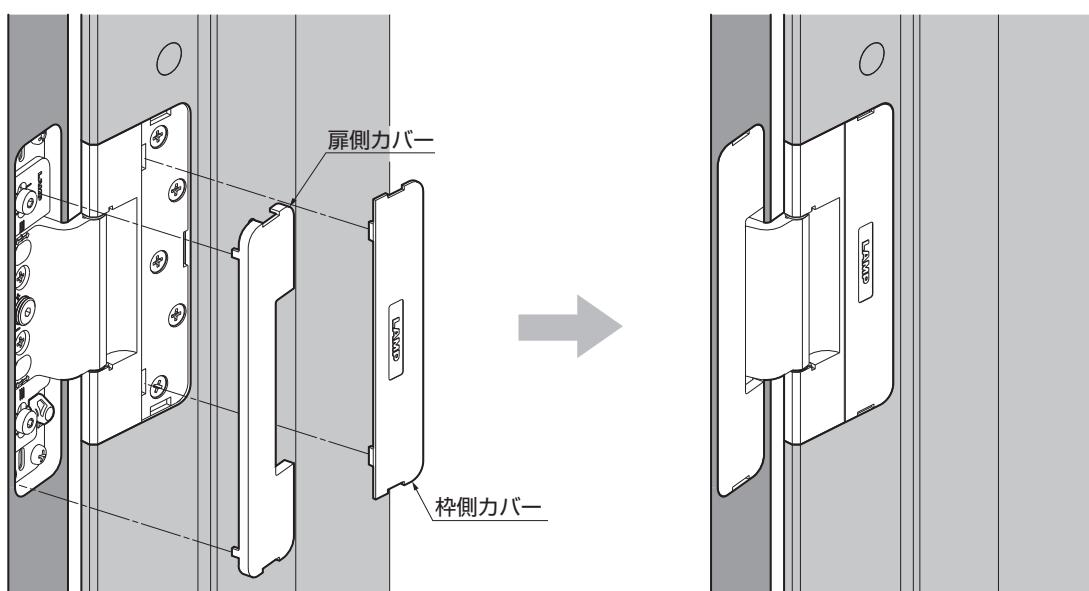
## 施工手順

### 4-2 扇の吊り込み

- ③ 上下調整ねじを締め、扇を本固定する



- ④ 丁番の位置調整（次ページ参照）を行い、カバーを取り付ける

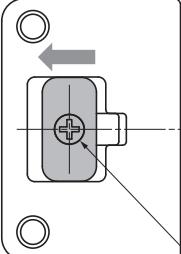
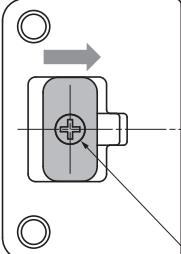


# 調整方法

## △ 注意

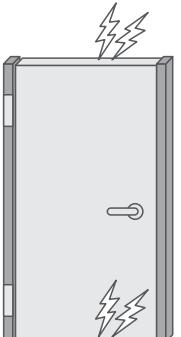
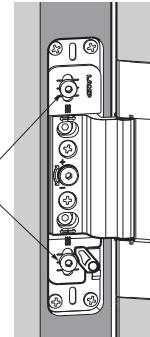
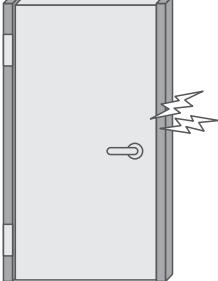
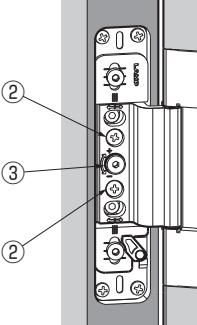
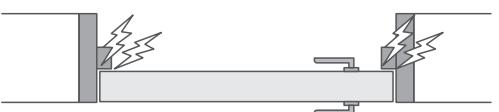
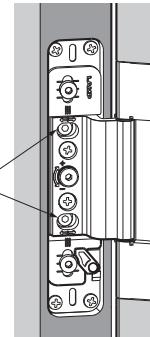
ねじの締め込みに電動ドライバーは絶対に使用しないでください。

### ■ストライク

ラッチがガタガタする	ラッチがかからない
 <p>奥につめる ねじを回す</p>	 <p>手前によせる ねじを回す</p>

※ねじは無限回転のため、回し続けると可動部は折り返します

### ■丁番

	現象	対処方法
上下調整	 <p>扉が床と擦れる または 天井と擦れる</p>	<ol style="list-style-type: none"><li>上下調整ねじ①を約半回転 ゆるめる</li><li>扉を最適位置へ調整する</li><li>ゆるめたねじを締める ※推奨3.5N・m</li></ol> <p>【調整範囲】 -4~+4mm</p> 
左右調整	 <p>扉戸先と枠が当たる</p>	<ol style="list-style-type: none"><li>左右調整固定ねじ②を ゆるめる</li><li>左右調整ねじ③を回して 調整する</li><li>ねじ②を締める ※推奨1.5N・m</li></ol> <p>【調整範囲】 -2~+2mm</p> 
前後調整	 <p>扉が戸当たりに接触しすぎている</p>	<ol style="list-style-type: none"><li>前後調整ねじ④を約半回転 ゆるめる</li><li>扉を最適位置へ調整する</li><li>ゆるめたねじを締める ※推奨3.5N・m</li></ol> <p>【調整範囲】 -1~+1mm</p> 

本製品に関するご質問・ご相談は、  
ご購入先の販売店へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応になります。

**SUGATSUNE** **スガツネ工業**  
**LAMP** 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL:03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30  
E-mail : support@sugatsune.co.jp

2022.12 1564-1